



〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31
公益財団法人 現代人形劇センター内
TEL: 044-777-2228 FAX: 044-777-3570
e-mail: deaf@puppet.or.jp URL: http://deaf.puppet.or.jp/

Twitter, Facebook もやっています!

北海道ツアー レポート by. 池内剛志

こんにちは。去る5～6月の「河の童」東北・北海道ツアーについて、ご報告します。

旅の始まりは**仙台市**、そして**山形市**。実行委員会さんがそれぞれに、メンバーとお客様を交えた交流会、劇から感じたことを語り合うアフターイベントを企画されていたことが印象的でした。お客様ひとりひとりが違う切り口で、色々なことを感じていただけたようで嬉しいです。

北海道の初日は**帯広市**公演でした。このとき北海道は真夏並みの猛暑。異常気象です。汗を流しながら搬入、設営……しかし河童の物語は納涼にもびったり!! みなさん、一足早い夏の思い出になったのではないのでしょうか(?)

続く**安平町**と**苫小牧市**の公演は、先の地震を受けて実行委員会さんが尽力。無料公演となりました。みなさん大変な苦勞を抱えながらも、一方では生活の彩りや心の豊かさも求めていたりして、人形劇はきっとそういうものですね。「暑いから仕事サボって涼みに来たヨ」といって途中入場されたお父さんが後々怒られなかったか、少し心配です。

札幌市では「河の童」と「一寸法師」を上演しました。どちらの公演にもたくさんのお客様にお越しいただき、さらに一寸法師の後におこなわれた「音のワークショップ」も、大人子供入混じって充実した時間となりました。公演の前後にはよさこい祭りに遭遇し、ダイナミックな表現はメンバーにとってもいい刺激となったようです。

続きまして、**釧路市**公演。ほぼ満席となりました。共同主催のNPO法人和さんの「カップアート展」やオリジナルグッズが素敵すぎて……お客様と一緒に目を奪われてしまいました。

ようやく最終地点、千秋楽は**岩見沢市**。地元ボランティアの方々のパワフルなこと!! 負けじと芝居にも熱が入ります。終演後には岩見沢名物の焼き鳥に舌鼓を打ち、(ひと串の中に様々な部位が!)一同は帰途へついたのでした。

東北のみなさん、北海道のみなさん、本当にありがとうございました! またお会いしましょう!

実行委員さんによる ここだけのはなし 一仙台編一

2019年5月12日、デフ・パペットシアターひとみ『河の童』仙台公演の実行委員をさせていただきました佐藤一恵と申します。

とても不思議なご縁から実行委員という役をいただいたのですが、その時の何かひとつでも出会わずに通り過ぎたりしていれば、このような機会はなかったのだと思うと改めて強い繋がりがあったことを感じます。

繋がりとと言えば、仙台公演を盛り上げるために公演に先立って「河童マフィン」を考案し、宣伝してくれたお菓子屋さんのmirokuさん。当日の手話通訳してくれた東北福祉大学の手話サークルの皆さん。大きなバックアップを感じながら、無事に公演当日を迎えることができました。

『河の童』は、自分とは違う人や生き物を共存していくということをほとんど言語表現のない舞台のなかで伝えてくれました。

河童ともっとも仲良しだった女の子が供物として井戸を投げ入れられてしまう場面やラストシーンで全員が倒れてしまうところは、私ばかりでなく多くのお客様が様々に感情を動かされ、帰りに私のもとにメッセージとしてもたらされました。

「一緒に観ていた子どもたちがこんなふう言うんです。“みんながたおれてしまったのは、あのあと、おおきなつなみがきたからなんだ”。大人には思いもつかないことを想像していたのだと
思いました」



子どもたちの反応は公演後の“私とは違うひと・ここではない場所・ちょっと似ているところと出会う交流会”でも見られました。子どもたちが演者の榎本さんと何とか会話をしようと手話ボラン

ティアスタッフの方からはじめて手話を習い、たどたどしくも懸命に、楽しそうに覚えたての手話で会話していたのです。

私たちは大人になるとかかの過程で、何かのきっかけで、自分と他人との違いに柵のようなものを立ててしまうのだろうか。子どもたちの想像力や他者との間に壁をもたないその行動にふと、ほほえましさと、考えさせられる機会を持つことができました。

今年5月、17年ぶりの実行委員会での公演が山形で実施されました。山形出身の榎本に公演の感想を聞いてみました！



榎本トオル

山形県出身、ろう者。
1991年にデフパペに入団、同年「さくらものがたり」でデビュー。劇団の作品では出演だけでなく舞台監督も担当する。

今回の公演は、どういうきっかけで始まったのでしょうか？

—実行委員会の中心は“交流創出グループ ark[アーク]”さんでした。arkは、デフパペットの元制作者‘かちゃ’が山形で、子育て世代のお母さんたちと一緒に立ち上げたグループです。山形では中々本物の舞台を観ることができないので、障がいのある子もいない子と一緒に楽しめる舞台を届けたいと、今回実行委員会が立ち上がりました。実行委員長の黒沼さんは、元々は山形聾学校の教頭先生。様々な方と一緒に人形芝居を楽しみたい、河の童のテーマである『共に生きるってなんだろう』を考えてほしいと、取り組んでくださいました。ボランティアさんのたくさんのサポートや、養護学校の生徒さん手作りのパンフレットなどもあり、とてもあたたかい公演でした。



山形公演実行委員さん手づくりの「しゅわてぬぐい」▲

テレビの取材も来ていましたね。

—公演の一週間前に仙台公演があり、そこでNHK山形に、公演の様子や山形出身のぼくのことを取材していただきました。その後放送の際に手話と字幕も入れていただいて嬉しかったですし、取材をしてくれた方が手話が上手だったので自然に話すことができました。

放送では、榎本さんがデフパペットに入ったきっかけもお話しされていましたが…

—一歩くが山形聾学校を卒業する前、先輩にアメリカデフシアターが福島に来るから観に行こうと誘われました。それが舞台との出会い。こんなことをしてみたい！と思いました。デフパペとの出会いは、今、参議院議員になった芳賀さんがきっかけだったと思います。初めて見た作品は「京太郎の唄」でした。感動して、まだ珍しかったのですが、もっと山形にデフのパフォーマンスを観て演劇を楽しむことを拡げることが出来たらいいなと思い当時の山形実行委員会のメンバーとなりました。そしてその後デフパペットに入団することになりました。

しかし、その後山形公演の実行委員会の実現がなかなか難しくデフパペの公演がしばらくありませんでした。山形のみなさまに本当に申し訳ない気持ちだったのですが、今回、こういった素敵な形で公演が実現できたことが、とてもうれしかったです。また山形に笑顔を届けたいです。山形のみなさん、ありがとうございました！



新メンバーのご紹介



はじめまして。4月から入団しました、加藤 埜明(かとうのあ)と申します。

デフ・パペットシアター・ひとみの本拠地から徒歩圏の小学校に通っていた地元っ子です。

元々声優としてラジオ番組などをやっておりましたが、縁あって人形劇をすることになりました。

『声だけで』伝える声優と、『声を使わず』伝えるデフパペの人形劇。違うことだらけで刺激がいっぱいです。

初めての仙台公演、ドキドキの山形公演、そして長期間の北海道公演、神奈川に住む親が見に来てくれた東京公演。

どの公演も思い出がいっぱいです。

これからもっと沢山の刺激を受けて、素敵な時間をお届けできるよう精進して参ります。

よろしくお願いいたします。

加藤 埜明



公演スケジュール (2019年8月~2020年3月)

河の童 - かわのわっぱ -

9月21日 岡山県 倉敷市
9月23日 島根県 出雲市
11月28日 神奈川県 横浜市
11月30日 香川県 東かがわ市
12月1日 香川県 東かがわ市
12月13日 福岡県 北九州市
12月15日 山口県 防府市
2020年
2月22日 長崎県 長与市
3月7日 群馬県 大泉町
3月8日 茨城県 つくば市
3月28日 岩手県 大船渡

はこ /BOXES

10月4日 長野県 茅野市
10月5日 長野県 茅野市
10月25日 秋田県 鹿角市
10月28日 宮城県 登米市
10月30日 宮城県 大崎市
10月31日 宮城県 柴田市
11月1日 宮城県 角田市
11月5日 北海道 旭川市
11月7日 青森県 弘前市
11月8日 青森県 弘前市
11月11日 岩手県 盛岡市
11月12日 岩手県 滝沢市

稲むらの火

2020年
2月1日 石川県 かほく市

一寸法師

8月12日 東京都 吉祥寺
9月7日 神奈川県 横浜市
12月21日 静岡県 焼津市
2020年
3月1日 秋田県 秋田市

詳細は、劇団まで
お問い合わせください。

★デフパペ友の会★

デフ・パペットシアター・ひとみでは様々な特典のある【友の会】を募集しています。

- ・年会費
個人会員 1500円
ペア会員 2500円

- ・特典
デフパペ公演割引
グッズお買いものチケット
デフパペニュースのお届け
オリジナルお誕生日カード

◆◆◆寄付・賛助会員について◆◆◆

デフ・パペットシアター・ひとみの企画運営をしている(公財)現代人形劇センターでは、人形劇の普及・発展のために、様々な活動を行っており、活動に共感いただいている方の参画をお待ちしています。ここでの収益は、デフ・パペットシアター・ひとみを含む、現代人形劇センターの事業の活動資金となります。詳細は別紙をご参照ください。

デフ・パペットシアター・ひとみ メンバー

善岡修 榎本トオル やなせけいこ
鈴木文 増子仁美 加藤埜明
吉村衣世 中西優樹 池内剛志